

20150317 なぜ今、国語なのか～崩壊のプロセスとその解決実践策@大津神社

講師：松田雄一（NPO法人 広島まほろば学習会）

まほろば=美しい国

本当に素晴らしい国

日本の美しさをたたえることば

台湾では、フォルモサ台湾

日本人が大切にしてきた心を鍛え、いのちを輝かせる教育を実現する

世界に尊敬される日本を創る若きリーダーを輩出する

教育に関してスパイシーな地域

H2O 広島、北海道、大分、大阪、沖縄

H3O3 北海道、広島、兵庫、大分、大阪、沖縄

平成10年、12年まで広島県教育委員会、および福山教育委員会

文部省によって「是正指導」が入るくらいとんでもないことが起こっていた

ここを転換点に、広島県の教育環境は飛躍的に改善

高校進学を抽選で決めさせたり、その他エピソード多数

2013年公立小学校学力テスト 広島6位 大阪33位

ゆとり教育、はじまって変えるまでに30年かかっている

人の脳はすぐに先入観で縛り付けられる

教育の目的は何？

①

今日よりぞ をさな心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏めかし（吉田松陰）

去恥心（橋本佐内）

自立に向けて育てること

依存することなく自活できる（経済的自立）

社会に貢献し、自分の役割を全うできる（精神的自立）

社会の発展のためには・・・

「誰にも迷惑をかけていないんだからいいじゃん」

マイナスでないことを主張しているようではプラスに進めない

②

自分が帰属する土地を知り、その未来の担い手であると自覚すること

日本の建国は？建国者は？建国の理念は？

大阪府（泉大津）の人口は？面積は？

日本の建国理念：一つ屋根の下、家族

縦軸と横軸のそれぞれの軸をきちんとした人材を育てること

縦軸、自分たちの国や地域の先人の生き方を知り、歴史を体得する

横軸、現在の社会を改善するための、国内の色々な課題や世界の情勢を知る

感性・・・高度な受信能力

小さなことにも気が付く人間

例えば、京紫、江戸紫の違い

高度な受信能力（感性）は、日本人のものづくり、サービス産業にも影響

我が国を支える極めて重要な部分である

感性を豊かにするために、言葉（古典）

京紫、江戸紫、色の違いを見ながら、言葉と同時にインプットする

自律⇒自立

自分を律することからはじめる

愛郷心⇒愛国心

自分を律するために⇒「言葉」

一生で一番会話するのは自分であり、言葉によって管理されている

自律、自立を妨げて、未熟な個人を増やすためには・・・

言葉に関する教育を破壊すること

戦勝国は敗戦国の教育を捜査してよいのか？

総力戦って？

占領者の言葉（マッカーサー）

いじられた後の言語しか知らないから我々は知らない

GHQによる四大指令

- ・日本教育制度に関する管理政策
- ・教育追放令
- ・神道指令
- ・修身・日本史・地理に関する指令

初等教育から古典が消えてしまっている

外国は古典のみやるのが標準

一番最初は難しいものを与える

戦後教育は、音を軽視し、意味ばかり教える

国語が他の教科と同列に扱われている

漢字の持つ意味が希薄化、当用漢字

自分の立ち位置が不明瞭になるような言語増加

熔岩⇒溶岩

GHQ、漢字を減らした。

3000から4000字⇒1850字しか使ってはいけないことになった

最終的には、ローマ字表記の国にすることが目的だった

ことばによって自分の立ち位置が変わる例

我が国⇒この国

国史⇒日本史

国酒⇒日本酒

どこか他人事。人間の意識が薄まる

言葉の深みがなくなっている

天長節⇒天皇誕生日

地久節⇒皇后誕生日

紀元節⇒建国記念日

未曾有⇒今までに経験したことがないような

文化の日⇒明治節

新嘗祭⇒勤労感謝の日

現在、祭日はゼロ

身近な唱歌さえ改変されたものを学んでいる

明治時代に、なぜ音楽教育をしたのか

江戸時代は、連邦体制。自分の藩のことだけでよかった

日本人意識を育てるために音楽教育

例：鹿児島の子どもが、雪の歌を歌う

戦後、消されている部分は大きく4点

- ・天皇、皇室に関わる部分
- ・軍事に関する部分
- ・愛国心に関する部分
- ・家族の絆に関わる部分

蛍の光⇒空より高く・・・意味のわからない歌詞になっている

国語学習の中心は「生活」そのものの中にある

家族の会話、テレビの音声、読書など、日常の中で言葉を積み出すもの

学校教育での国語は「言葉を意識する時間」

小学校1年生の場合 1年間の授業時間

850時間（45分×33.3時間×34週間）

1日テレビ視聴時間 3時間×365日＝1095時間

年間国語授業時間 306時間

核家族多く、言葉のシャワー少なくなっている

国語授業比率 1年36% 3年26% 6年18%

フランス 小学校低学年67%

戦後70年も経過し、すでに責任は日本人にある

色々な問題を解決していくために

古典文章を「素読する」

日本人が実績としてやってきたことを復活させるだけ

音読は素読と朗読の二つ

素読、ただ声に出して文章を読み上げる。意味は教えない

朗読、意味を理解した上でうまく読み上げる

外国の小学校では国語の時間をほとんど素読に費やしている

日本では明治以降に素読が廃れはじめた

そして、先の大戦後、なくなった

素読教室は江戸時代の寺子屋で盛んに行われていた

18世紀の識字率

日本70% イギリス30% フランス10% ロシア3%

校舎はお寺や神社

3歳くらいから入学でき6歳くらいから本格的な勉強がはじまる

読み書きそろばん

教科書は7000 日本全国に20000軒あった

一番多かったのは、武蔵野国(1800軒)

長州(1300軒)

素読のメリット

単純な方法であるため誰にでもできる

6歳5600語 20歳48500語

6歳から20歳で43000語増える

8歳から11歳が言語増加率一番高い 毎年3、4割増加

寺子屋には入試があった(実語教の素読)

実語教を発表(昔の人は5歳に課していた)

教養

創造的人間 湯川秀樹

膨大なインプットがあって、創造できる

ディベート、それ以前のインプット(言語力)がないのにできない

素読の量が多ければ多かったほど、興味関心が増える

大量のインプット

再度その言葉に出会った時に、強く反応してその言葉の意味を焼き付けることができる

道徳教育に必要なのは、古典と偉人伝

古典とは、古(いにしえ)の典(のり)

典=規範意識、節度、律する心、模範

古典を学ぶことは生き方について考えること

本学と末学

本学(生き方を考え、より良い生き方を目指す)

末学（生きていくための手段や技術を体得する）

これらは、戦後嫌われた

生き方は、個人の自由だと・・・

本末転倒の語源は、本学と末学からきている

まずは大人から行動を。大人が素読をはじめましょう！

日本はまだ戦後の中にある

終戦のご詔勅の中に昭和天皇の大御心が込められている

再度意味を深く理解し、実践することが大切

昭和天皇は戦後復興に 300 年かかると仰せになられた

昭和 22 年 12 月の広島御行幸（英軍が撮影したカラー映像が残っている）

戦争で日本は焼け野原になったが、日本人の心は焼け切れていなかったことがわかる